金融仲介機能の発揮に向けた取り組み状況について

2023年3月31日現在

青い森信用金庫

Face to Face

【中小企業の経営支援に関する取組み方針】

当金庫は創立以来「地域のみなさまの繁栄と豊かな暮らしづくりのお手伝い」を経営理念とし、地域と共に歩んでまいりました。
お客様の抱えている課題、問題点に対して、その解決に向けて真摯に取組み、地域社会の発展に全力で取組んでまいります。

【金融仲介機能のベンチマークとは】

2016年9月、金融庁は金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標として「金融仲介機能のベンチマーク」を策定・公表しました。具体的項目については、全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選拓ベンチマーク」、そして金融機関独自の指標設定をする「独自ベンチマーク」があります。

当金庫は、
「共通ベンチマーク」4項目及び「選択ベンチマーク」の中から当金庫が取組む活動に合致する7項目、加えて当金庫オリジナルの指標として「独自ベンチマーク」3項目を選定し、定期的に公表しております。

2023年3月31日現在

青い森信用金庫

Face to Face

【中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況】

お　客　様

支援

青い森信用金庫

・中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業（支援機関）

・認定経営革新等支援機関

経営サポート部、地域支援室、
営業本部

営　業　店

連携

主な支援内容

・個別企業に対する専門家派遣
・研修会の開催
・異業種交流会の開催
・ビジネスマッチへの参加
・よろず相談会の開催

・中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業
・公益財団法人21あおもり産業総合支援センター
・青森県事業承継・引継ぎ支援センター
・青森県よろず支援拠点
・青森県中小企業診断士協会
・青森県信用保証協会
・青森県中小企業活性化協議会
・地方公共団体
・大学等

2023年3月31日現在

青い森信用金庫
Face to Face

【中小企業支援に関する取組み状況】

➢ 創業・新規事業開拓を目指す顧客企業への支援

事業立ち上げ時の資金需要に積極的に対応しております。また、新商品、新産業の創出により創業・新規事業開拓を支援しております。

・外部専門家派遣による新商品開発等を支援。

・青森県信用金庫協会が主体となり実施している研修事業を通して新商品、新産業の創出を支援。

➢ 成長段階における更なる飛躍が見込まれる顧客企業への支援

事業拡大のための資金需要に対応しているほか、研修事業・専門家派遣を通じた情報提供や販路開拓支援等を実施しております。

・青森県信用金庫協会主体の研修事業を通して異業種間のマッチングや技術開発等を支援。

・外部専門家派遣により個別企業の様々な課題解決を支援。

・ビジネスマッチングへの出展や自治体と連携した展示会出展等による販路開拓支援。

➢ 経営改善や事業再生等が必要な顧客企業への支援

お客さまの経営改善計画策定の支援を行なっているほか、計画達成のために販路開拓等を支援しております。また、貸付条件の変更や、経営改善に向けた新たな資金需要にも対応しております。

・企業再生支援先を選定し、経営サポート部と営業店が連携して経営改善を支援。

・青森県中小企業活性化協議会等外部機関を活用し経営改善計画書や事業再生計画書の策定を支援。

2023年3月31日現在

青い森信用金庫

Face to Face

共通ベンチマーク

2023年3月末基準

（1）取引先企業の経営改善や成長力の強化

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
1	金融機関がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標（売上・営業利益率・労働生産性等）の改善や就業者数の増加が見られた先数及び、同先に対する融資額の推移	メイン先	1,271社	1,190社	1,166社
		メイン先の融資残高	646億円	604億円	609億円
		経営指標等が改善した先	538社	384社	340社
		経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移	342億円	204億円	193億円

（2）取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
2	金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況 【好調先】売上または当期純利益が計画比120%超 【順調先】売上または当期純利益が計画比80%～120% 【不調先】売上または当期純利益が計画比80%未満	条件変更先	519先	482先	534先
		好調先	7先	3先	4先
		順調先	13先	14先	8先
		不調先	37先	44先	61先
		改善計画未策定先	462先	421先	461社
			2023/3期	2022/3期	2021/3期
3	金融機関が関与した創業、第二創業の件数	金融機関が関与した創業件数	34件	38件	45件
		金融機関が関与した第二創業件数	3件	3件	4件

				全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
4	ライフステージ別の与信先数（先数単体ベース）、及び融資額 ※ 注 1	ライフステージ別の与信先	2023/3期	2,477社	165社	162社	1,751社	200社	199社
			2022/3期	2,456社	174社	135社	1729社	207社	211社
			2021/3期	2,433社	188社	153社	1,765社	119社	208社
		ライフステージ別の事業年度末の融資残高	2023/3期	1,124億円	48億円	63億円	792億円	61億円	159億円
			2022/3期	1,098億円	74億円	57億円	759億円	46億円	159億円
			2021/3期	1,105億円	79億円	76億円	784億円	29億円	135億円

（3）取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上

			2023/3月期		2022/3月期		2021/3月期	
5	金融機関が事業性評価に基づく融資を行なっている与信先数及び融資額、及び、全与信先数及び融資額に占める割合（先数単体ベース）	（単位：社、億円）	先数	融資残高	先数	融資残高	先数	融資残高
		事業性評価に基づく融資を行なっている与信先数及び残高	238先	33億円	276先	41億円	296先	45億円
		上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	5.19%	2.38%	5.84%	2.40%	6.18%	2.59%

選択ベンチマーク

2023年3月末基準

（1）地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

			2023/3期		2022/3期		2021/3期	
			地元	地元外	地元	地元外	地元	地元外
1	全取引先数と地域の取引先数の推移、及び、地域の企業数との比較 （当金庫は全取引先が地元企業とのお取引になります。）	全取引先数	4,622	—	4,677	—	4,743	—
		地域別の取引先数	4,622	—	4,677	—	4,743	—
		地域別の企業数	2022年3月末事業所数　54,523 （経済センサス-青森県の事業所数-2021年6月1日現在）					

（2）本業（企業価値の向上）支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
2	販路開拓支援を行った先数	販路開拓支援を行った先数（地元）	13先	14先	2先
		販路開拓支援を行った先数（地元外）	36先	37先	61先
		販路開拓支援を行った先数（海外）	2先	1先	0先
			2023/3期	2022/3期	2021/3期
3	事業再生支援先におけるDES・DDS・債権放棄を行った先数、及び、実施金額（債権放棄額にはサービサー等への債権譲渡における損失額を含む、以下同じ） ※ 注 2	事業再生支援先におけるDES・DDS・債権放棄を行った先数	0先	0先	0先
		事業再生支援先におけるDES・DDS・債権放棄を行った実施金額	0円	0円	0円

（3）迅速なサービスの提供等顧客ニーズに基づいたサービスの提供

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
4	運転資金に占める短期融資の割合	①運転資金額合計	955億円	950億円	988億円
		②短期資金額（割手・手貸・当貸）合計	341億円	330億円	315億円
		②/①	35.69%	34.74%	31.88%

選択ベンチマーク

2023年3月末基準

（4）人材育成

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
5	取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数	取引先の本業支援に関連する研修等の実施回数	14回	12回	5回
		取引先の本業支援に関連する研修等への参加者数	291名	502名	257名
		取引先の本業支援に関連する資格取得者数	12名	9名	3名

（5）外部専門家の活用

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
6	外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	84先	58先	60先

（6）他の金融機関及び中小企業支援施策との連携

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
7	REVIC、青森県中小企業活性化協議会の利用先数 ※ 注 3	REVICの利用者数	0先	0先	0先
		青森県中小企業活性化協議会の利用者数	1先	1先	0先

独自ベンチマーク

外郭団体との連携強化

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
1	信友会：営業店の取引先で構成され信用金庫(職員)との親交・親睦を図るための組織の会員数・行催事数 ※信友会旅行・ゴルフ大会・納涼会・各種講演会等を行っています。	会員数	3,685名	3,800名	3,996名
		行催事	65回	21回	33回

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
2	年金友の会：当金庫へ年金受給口座を開設している方との親睦を図る組織の会員数・行催事数 ※年金友の会湯治旅行・ゲートボール大会を行っています。	会員数	42,069名	43,886名	45,420名
		行催事	0回	0回	0回

			2023/3期	2022/3期	2021/3期
3	取引先の知識向上や情報交換を目指した行催事数 ※文化講演会・パークゴルフ・グランドゴルフ等を行っています。	行催事	0回	0回	3回

〈用語の説明〉

➢注 1 （共通ベンチマーク 4）

・創業期	…	創業・第二創業から5年まで
・成長期	…	直近2期の売上高が過去5年平均の120%超
・安定期	…	直近2期の売上高が過去5年平均の120～80%
・低迷期	…	直近2期の売上高が過去5年平均の80%未満
・再生期	…	条件変更または延滞となっている期間

➢注 2 （選択ベンチマーク 3）

・DES	…	過剰債務を解消するため、借入金の一部を株式に切り換える手法です。
・DDS	…	既存の借入金を、返済順位の低い劣後ローンとして借り換える手法です。

➢注 3 （選択ベンチマーク 7）

・REVIC	…	株式会社地域経済活性化支援機構のことです。地域経済の再建を図るため、有用な経済資源を有しながら過大な債務を負っている事業者の事業再生を支援することを目的に設立されました。現在は再チャレンジ支援業務、ファンド出資業務等が追加され地域経済の活性化に資する支援の取組みを進めております。